

保険者としての市の取り組み(検討資料P5～P10)

<p>収納対策</p> <p>【収納対策の強化】 現年度の収納率を、95%以上確保する。 効果額:1億8千万円 滞納分保険料の徴収率を30%以上確保する 効果額:1千万円 調整交付金のペナルティを回避する。 効果額:1千3百万円 (仮称)収納対策緊急計画の策定 【事務改善】 保険証更新間隔見直し 窓口業務の改善</p> <p>【検討資料P5～P6】</p>	<p>納付利便性</p> <p>【口座振替の勧奨】 口座振替勧奨を強化する。 口座振替利用率を、5割以上に増やす。 口座振替不能分の再振替を検討する。 「口座振替報奨金」を検討する。</p> <p>【納付手段の追加】 コンビニ収納の検討 クレジット収納の検討 銀行ATMなどからの収納を検討する。</p> <p>【検討資料P7】</p>	<p>第三者行為</p> <p>【第三者行為請求の強化】 第三者行為による保険給付の確認を強化する。 効果額:6百万円</p> <p>【検討資料P8】</p>	<p>レセプト点検</p> <p>【レセプト点検の強化】 レセプト点検を強化 資格・過誤調整の審査を強化する。 効果額:1千5百万円</p> <p>【検討資料P8】</p>	<p>広報・啓発</p> <p>【特定健診受診勧奨】 特定健診の受診勧奨を実施し、受診率を向上する。 【健康維持PRの実施】 積極的な情報提供を実施し、健康維持の周知を図る。 ジェネリック医薬品などの情報を提供する。</p> <p>【検討資料P9～P10】</p>
--	--	---	--	--

市独自制度(検討資料P11～P30)

<p>保険料の納付</p> <p>【暫定賦課の実施】 保険料の仮算定を実施している。 仮算定を廃止する。 (約1千1百万円)</p> <p>【前納報奨金】 納期前納付に対する報奨金を廃止する。 平成20年度の決算見込み 1千6百万円</p> <p>【検討資料P11】</p>	<p>軽減・減免</p> <p>【年齢軽減】 世帯主を除く、22才以下の均等割額の1/2に減額を見直す。 平成20年度軽減額 1億2千万円 多子に配慮した方式を検討する。</p> <p>【障害者減免】 身体障害者のいる世帯の保険料の所得に応じた1割、3割、5割減免を見直す。 平成20年度減免額 4千9百万円</p> <p>【検討資料P12～P17】</p>	<p>保険料計算</p> <p>【保険料計算方法が固定】 均等割額及び所得割料率を固定している。 当該年度に必要な医療給付費等の総額から歳入予定額を差し引いて保険料として必要な額を算出するよう改める。</p> <p>【検討資料P18～P26】</p>	<p>保険料率</p> <p>【二段階料率】 所得割の保険料率を所得400万円を境として二段階にしている。 国保法に基づく料率体系に改正する。</p> <p>【検討資料P20】</p>	<p>保健事業</p> <p>【総合健康診断補助】 人間ドック、肺ガン検診、乳ガン検診に保険から補助を出している 平成19年度実績 人間ドック 2千2百万円 肺ガン検診 3百万円 乳ガン検診 4万円</p> <p>【学童う歯治療】 学童う歯治療に対して本人負担分を保険から支出している。 平成19年度の実績 6百万円</p> <p>【検討資料P27～P30】</p>
--	---	--	---	---

見直し・取り組みの効果

